

マレーシアで安全に過ごすために

国が違えば生活習慣も異なるように、そこで発生する犯罪の態様も異なります。「マレーシアは治安が良い」として漫然と過ごすことなく、最新の安全情報を自ら確認し、防犯対策を心がけることでトラブルを未然に防ぎ、安全に過ごすことができます。

1 スリ被害に注意



KLセントラル駅、ブキビンタン、ジャランアロー、セントラルマーケットやムルデカ広場において、スリ被害が確認されています。

観光中やエスカレーター利用時などは貴重品を入れたリュックなどのカバンは、必ず身体の正面に抱えるようにし、盗難や紛失防止に努めてください。

3 他人の荷物を預からない

SNSやインターネット上の「高額報酬」という誘い文句に乗り、荷物の運搬を頼まれ、知らないうちに大麻など違法薬物の「運び屋」にされ、空港で警察・税関に逮捕される事案が確認されています。

「知らなかった」という言い訳は通用しません。十分に注意してください。



2 お金見せて詐欺



クアラルンプール市内において、中東系の男女や白人男性から、「日本円を見せて欲しい」と声かけられ、言葉巧みに、財布内から現金を抜き取ろうとする手口が確認されています。

このような声掛けには、相手にすることなく、その場を速やかに立ち去るように心がけてください。

4 電話詐欺には要注意

2025年中のオンライン詐欺(電話詐欺など)の被害件数は、前年比+87%増、セランゴール州とクアラルンプールは、3年連続で国内最大の詐欺多発地域となっています。

少しでも違和感を覚える場合、疑わしいと思える場合には、家族等の近しい人や警察署などに相談してください。



5 マレーシアの交通事情

マレーシアでは、バイクの無謀運転が多く、都市部では渋滞回避のためにバイクがすり抜け運転をする、赤信号を無視する、逆走するといった事例が多発しており、バイクには注意が必要です。また、横断歩道も少ないという交通環境になっています。

ご自身、ご家族が交通事故の被害者にならないよう注意してください。



安全に関する注意喚起

- 犯罪被害に遭われた際は、事案の概要を当館のEメールアドレス(ryo@kl.mofa.go.jp)又は、当館代表電話にご一報ください。
- 邦人の皆様が、同様の被害に遭わないよう、ご連絡いただいた方の個人が特定されないよう十分に配慮をした上で、ご報告いただいた内容に応じて、注意喚起を行います。

その他関連情報は裏面をご覧ください

その他関連情報



最新の安全情報や手続き方法は、次の公式ホームページをご確認ください。



パスポートを紛失等した際の手続き

(紛失・盗難時の届出、再発行、帰国のための渡航書などを案内)

https://www.my.emb-japan.go.jp/itpr_ja/passport.html#lost



犯罪被害に遭った場合

(緊急電話番号、ポリスレポートの届出先、治安情勢などを説明)

https://www.my.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzen_info.html



お助けレポート@マレーシア

(盗難・詐欺・交通事故など、ポリスレポート作成時のサポート)

https://www.my.emb-japan.go.jp/itpr_ja/newinfo_07042025.html



私は騙されない@マレーシア

(マレーシアにおける主な詐欺の手口や未然防止策などを紹介)

https://www.my.emb-japan.go.jp/itpr_ja/avoidbeingscammed.html



マレーシアで困ったら

(主な警察署・交通警察署、安全の手引き、在外公館が「通常できること」、「できないこと」についても説明)

https://www.my.emb-japan.go.jp/itpr_ja/newinfo_29072025.html



生活情報

(運転免許証、日本語が通じる弁護士事務所、通訳・翻訳会社、葬儀社・葬儀場などを紹介)

https://www.my.emb-japan.go.jp/itpr_ja/life_info.html



主な注意喚起

(特にお知らせしたい注意喚起一覧を紹介)

<https://www.my.emb-japan.go.jp/files/101066158.pdf>



たびレジ

(出発前から旅行中まで、渡航先の治安情報やデモ、災害、感染症などの安全情報を日本語のメールやLINEで受け取れます)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>



事件・事故に巻き込まれないために



- ✓ マレーシアの犯罪情勢、交通情勢をよく認識し、ご自身、ご家族を守るための安全対策、防犯意識を保持。
- ✓ 少しでも不安があれば一人で抱え込まず、ご家族、ご友人、お近くの警察、又は大使館・総領事館に相談。